

コンセプト

子育てを通して、まちの人々がつながり、支え合い、共に育む場。  
笑顔あふれる多世代交流コミュニティ「おひさま テラス」を創造します。



わくわくがまった発見の場！  
**おひさまテラス  
フロアマップ**

**つくる**



DIY

おひさまテラスには、工具から資材まで揃った工作コーナーまで、様々な設備が揃ったものづくりスペースがあります。ものづくりを通して、暮らしを豊かにする体験づくりもしています！講習会やワークショップも開催予定です。

**借りる・催す**



おひさまテラスには、個性豊かなレンタルスペースがあります。キッチンやダンススタジオ、動物設備の整ったミュージックスタジオ、大形の会議室など、ここならなんでも催すことができます！宴会を借り、イベントを開催することも可能です。ご予約はWEBにて受付しています。

**あそぶ**



おひさまテラスには、元気に遊べる屋内公園があります。すべり台やトンネルなどの遊具で思いっきり心と身体を遊ばせよう！仲良く、ゆずりあってご利用ください。



**食べる**



おひさまテラスでは、地元産の食材をとり入れたこだわりのカフェレストランでお食事を楽しむことができます。身も心も元気になるメニューをそろえてお待ちしております！

**読む**



おひさまテラスのために選んだ数千冊の本が揃ったおひさまライブラリー。大空間を静かに仕切る本棚では、テーマに沿った様々な本の出会いが楽しめます。本を通じた交流や学びの機会も設けています。

**過ごす**



おひさまテラスには、自由に過ごすオープンスペースがあります。勉強や休憩、ほっと息つくなど様々な過ごし方ができます。自分なりのお気に入りのスペースを見つけみてください！

**学ぶ・参加する**



おひさまテラスでは、スキルアップや趣味・仲間づくり、ものづくり、食など様々なジャンルの講座やワークショップを開催予定です。様々な出会いやきっかけを創っています。ご参加申し込みはWEBにて受付しています。

**働く**



おひさまテラスには、有料のワークスペースがあります。みんなの仕事場として、また新たなコラボレーションを生み出すビジネスの拠点を、是非ご利用ください。

**ベビーキャンプ**



おひさまテラスのレンタルスペースを利用、イベントを開催される方を対象に、実習者のお子連れのご参加も承っております。詳しくは別途ご案内いたします。

**受付**



当施設スタッフが常駐しております。おひさまテラスに関するお問い合わせは、こちらまで、お気軽に申しかけてください！





メディア掲載 (抜粋)

4/23 朝日新聞

朝日新聞デジタル > 記事  
**地元の課題解決めざす「まち」がオープン 病院など核に千葉・旭**  
 三得井一 2022年4月23日 11時00分

千葉県旭市に23日、商業施設や病院などを核にしたエリア「あらいあさひ」がオープンし、隣接する国保旭中央病院や市との連携が始まる。今後、特別養護老人ホームや移住者向け住宅なども整備される。市は若い世代を呼び込んで人口減少の歯止めをかけた。旭市は、イオンタウンを代表とする4社、旭中央病院に隣接する敷地約3・5ヘクタールに「イオンタウン旭」(敷地面積2・5ヘクタール)のほか、市内の介護事業者「美天堂」の特別養護老人ホーム(同0・4ヘクタール、約80人、来年12月完成予定)、大和ハウス工業による移住者向け住宅(同0・4ヘクタール、2024年度)が建設される。

開発構想が決まったのは6年前。市の現人口約6万4千人は、今のペースでは2060年に約3万6千人に減る予測。市では4万8千人に維持したい考えで、米本弥一郎市長は「人口減少と少子高齢化を食い止めるため、旭中央病院と核とした新しい街づくりを始めた」と説明する。

8/18 日本経済新聞

日本経済新聞  
 記事利用について  
**(点照) イオンが担う行政サービス**  
 2022/8/18日 日本経済新聞 朝刊

イオングループのイオンタウン(千葉市)が九十九里浜に直した千葉県旭市で新たな「行政サービス」に挑んでいる。4月に開業した「イオンタウン旭」の2階に市がつくった公共施設の指定管理者として、単なる受託運営にとどまらずに市民の自己実現を手助けし、地域の活かづくりに一役買う。



【約1600種の本が揃ったライブラリーや高齢シニアスペースなど、多岐な機能を持つ

8/22 WEBメディア「のくらし」

のくらし  
 まちとのつながり  
**旭市多世代交流施設「おひさまテラス」から考える、地域拠点を成功事例とするためのチーム体制とは**

目次

- 1 多世代交流施設「おひさまテラス」
- 2 成功の理由、旭市との関係性
- 3 地域拠点を成功事例とするためのチーム体制
- 4 多世代交流施設への応用、旭市以外の事例
- 5 「おひさまテラス」の未来
- 6 地域拠点の成功事例、成功事例にするために

「まちづくりのくらし」では、これまで以上に身近な生活や地域、まちづくりに関する人々の知識や情報を集めて、暮らしに役立つ情報を発信する思いのほかから発信していく予定です。

本シリーズの第二回は、千葉県旭市の旭市多世代交流施設「おひさまテラス」から考える「まちづくり」のくらしです。

「おひさまテラス」は、千葉県旭市にある商業施設「イオンタウン旭」のなかから2022年4月にオープンした多世代交流施設。「一人ひとりが暮らしの楽しさを発見できる」を目的とする施設では、旭市も市民生活の充実や地域活性化を目的として、そのまちづくりのなかから注目を集めています。

今回は、そんなイオンタウン旭で働く「おひさまテラス」の担当者から旭市のまちづくりや、旭市での暮らしの思い、プロジェクトの成功に欠かせないチーム体制、そしてこれからの展望、関係者の声からお届けしていきます。

視察・取材等 (抜粋)

熊谷千葉県知事 視察



熊谷 拓人  
 8月23日 4:05

おはようございます。旭市・熊谷市・東金市の現地視察について紹介します。

まずは旭市の多世代交流拠点「おひさまテラス」を視察。地域医療の中枢を担う旭中央病院に隣接する形でイオンタウンを整備され、その周辺に特別養護老人ホームや移住者向け住宅が今後整備されるなど、全面でも有数の規模である旭中央病院を核としたまちづくりが進められています。

このイオンタウンの中心に旭市の多世代交流施設が整備され、図書館機能やコミュニティ機能などが先進的なデザインコンセプトで盛り込まれています。

旭市の思い切った視察が地域に機軸し、活性化していくことを期待していますし、私たちが学びたいと思っております。

次に県立東部図書館を視察。東部図書館は昨年1月に旭市に移設することによって旭市が合併し、移設までの間、一部を旭市図書館として使用することとなりました。

その後、米本市長や市の職さん、関係機関と意見交換。東部図書館の移設に伴い、県としてどのように旭市を支援していくか、担当部署としっかりと協議していきます。

「めざましテレビ」収録



「カミナリのチャリ旅！」収録



イベント／コンテンツ実施状況



地域連携コンテンツ（抜粋）

旭中央病院「市民健康講座」



楽天堂「楽ワザ介護セミナー」



旭市「CCDフェスティバル」

